

令和4年度 学校評価

宮崎県立小林秀峰高等学校

| 重点目標 | 自己評価 | 学校関係者評価 | 評価理由(学校評議員記入) |
|--|--|---------|---|
| 1 深く「学ぶ姿勢」の育成を図り、基礎学力の定着と進路保障に努める | ①日々の授業や資格取得、学科間のコラボレーションを推進するなど学ぶ姿勢の育成を図る | B | A 外部講師招聘や各種セミナーの開催は、生徒、保護者からの評価が高い。進学・就職いずれも実績が上がっている。デジタル化の推進により、保護者にも負担が少ない環境を整えていると感じられた。学科間の連携により、生徒相互の意見交換が行われていると思う。 |
| | ②多様な進路希望に丁寧に対応し、生徒、保護者の希望が叶うような指導体制の充実を図る | A | |
| 2 充実した高校生活を送れるよう、一人ひとりを大切にされた日常指導の徹底に努める | ①基本的な生活習慣の確立に取り組み、学業と部活動の両立を推進する | B | A 部活動、農業クラブの活動が素晴らしく充実した高校生活を生徒は送れていると思う。部活動での活躍は地域にとっても大変面白いニュースで、いつも元気をもらっている。生徒のしっかりした挨拶は、先生方の日頃の指導の成果だと思う。 |
| | ②教育相談体制の充実を図る(いじめ・不登校対策委員会、特別支援対策委員会含む) | A | |
| 3 組織力の強化と教育・職場環境の整備と充実に努める | ①生徒が安心して学べる教育環境の整備、危機管理体制の確立と防災意識の醸成に努める | B | B 自己評価より、さらに改善の余地があると判断しました。職員の心身の健康が生徒の学びの環境に直結します。働きやすい環境作りに努めてください。コロナ禍で組織横断の活動に制約がある中、学校も苦勞されたと思う。今後、環境面の整備等も含め、民間で支援できる体制を考えていきたい。 |
| | ②縦・横の連携強化による組織体制の充実とともに、職員の心身の健康に配慮した働きやすい環境づくりに努める | B | |
| 4 地域との連携を推進し、地域に活力を与え、信頼される学校づくりに努める | ①学校行事等を通して、保護者や地域との連携を強化し入学希望者の勧誘、募集に努める | A | A 地域との交流や祭り、イベント等に積極的に参加し、当日参加した生徒は自ら進んで行動していた。本当に素晴らしいと思う。SNS等を利用した発信により地域から信頼され、地域に活力を与えている。全国和牛能力共進会での生徒及び職員の頑張りは、地域に大いに貢献してくれた。感心することの連続でした。 |
| | ③地域行事への参加や地域活性化の取組への協力など、地域に開かれた学校づくりに努め、積極的に地域貢献を発信する | B | |

3段階評価(A 目標を十分に達成できた。B 目標に向けて取り組んだ。C 目標を達成できなかった。)